

平成 29 年度医療安全管理者養成研修 e ラーニングプログラム

- | | |
|--------------------------------------------|-------|
| ① 医療の基本特性、質と安全 | 85 分 |
| 横浜市立大学 名誉教授 橋本 廸生 (公益財団法人 日本医療機能評価機構 執行理事) | |
| ② 医療安全の原理 | 85 分 |
| 横浜市立大学 名誉教授 橋本 廸生 (公益財団法人 日本医療機能評価機構 執行理事) | |
| ③ 医療安全の組織戦略 | 85 分 |
| 横浜市立大学 名誉教授 橋本 廸生 (公益財団法人 日本医療機能評価機構 執行理事) | |
| ④ 医療安全推進の動向 | 85 分 |
| 公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価推進事業部 部長 遠矢 雅史 | |
| ⑤ 医療メディエーション 対話による紛争調整 | 125 分 |
| 早稲田大学大学院 法務研究科 教授 和田 仁孝 | |
| ⑥ 医薬品の安全管理 | 50 分 |
| 医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 医療安全管理課 渡邊 幸子 | |
| ⑦ 医療機器に必要な保守・管理—医療機器を安全に使用するために— | 80 分 |
| 独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院 臨床工学部 田代 嗣晴 | |
| ⑧ 臨床検査と医療安全 | 55 分 |
| 東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学 准教授 浅井 さとみ | |
| ⑨ 医療事故に関する法律の基礎知識～医療安全に関わる裁判例から学ぶ～ | 80 分 |
| 荒井東京法律事務所 弁護士 三井 睦貴 | |
| ⑩ 医療事故調査制度 構造と背景 | 90 分 |
| 早稲田大学大学院 法務研究科 教授 和田 仁孝 | |
| ⑪ 医療事故調査制度 | 75 分 |
| 荒井東京法律事務所 弁護士 三井 睦貴 | |
| ⑫ 患者・家族による暴力への対策 —理論をふまえた実践へ— | 65 分 |
| 宮城大学看護学部 准教授 佐藤 可奈 | |
| ⑬ 医療有害事象発生後の対応 | 50 分 |
| 公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部 遠田 光子 | |
| ⑭ KYT の実際と職場導入のポイント | 55 分 |
| セコム医療システム株式会社 細川 香代子 | |

平成 29 年度医療安全管理者養成研修 e ラーニングプログラム

- | | | |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|-------|
| ⑮ | インシデント・アクシデント事例の RCA (Root Cause Analysis) 実践
名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 寺井 美峰子 | 75 分 |
| ⑯ | RCA (根本原因分析) について
公益財団法人日本医療機能評価機構 菅原 浩幸 | 100 分 |
| ⑰ | 自らに自ら気づく
元 横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療安全管理室 故 荒井 稔 | 110 分 |
| ⑱ | 高齢者・認知症の人の体験から考える医療安全
順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター 佐藤典子 | 70 分 |
| ⑲ | 手術室における医療安全
公立大学法人横浜市立大学附属病院 医療安全・医療管理学 准教授 菊地 龍明 | 80 分 |
| ⑳ | 医療安全のための基本的な医療関連感染対策
学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院 QI センター感染管理室マネジャー 坂本 史衣 | 60 分 |
| ㉑ | 信頼性・安全性工学から医療を検証する
電気通信大学大学院 情報理工学研究科 教授 田中 健次 | 105 分 |
| ㉒ | 医療安全をリードする病院管理者役割と行動
医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 院長 徳永 英吉 | 75 分 |
| ㉓ | 医療安全と看護師の役割
愛知医科大学看護学部・大学院 クリティカルケア看護学教授 松月 みどり | 75 分 |
| ㉔ | 市民社会と医療安全
札幌医科大学保健医療学部看護学科 (公衆衛生学領域)
(兼務) 医療人育成センター教育開発研究部門 山本 武志 | 100 分 |
| ㉕ | 高齢者ケアと医療安全
東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
高齢社会看護ケア開発学分野 教授 緒方 泰子 | 100 分 |
| ㉖ | 化学療法に関する医療安全
公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部 栗原 博之 | 115 分 |
| ㉗ | 鎮静・鎮痛と医療安全 一処置時における中等度鎮静の実際—
奈良県総合医療センター集中治療部 部長 安宅 一晃 | 75 分 |

平成 29 年度医療安全管理者養成研修 e ラーニングプログラム

- | | | |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| ⑳ | 院内救急システム；RRS～医療安全を変えるシステム～
院内は本当に安全なのか？ ～RRS の考え方と実際～
奈良県総合医療センター集中治療部 部長 安宅 一晃 | 60 分 |
| ㉑ | 院内救急システム；RRS～医療安全を変えるシステム～
RRS 最新のエビデンス
聖マリアンナ医科大学救急医学集中治療部 藤谷 茂樹 | 55 分 |
| ㉒ | 院内救急システム；RRS～医療安全を変えるシステム～
Rapid Response System～北里大学病院の取り組み～
北里大学病院 RST/RRT 室 集中ケア認定看護師 森安 恵実 | 40 分 |
| ㉓ | 院内救急システム；RRS～医療安全を変えるシステム～
Rapid Response System の起動例とその機能
北里大学病院 集中治療センター RST・RRT 室 小池 朋孝 | 45 分 |

* 講義内容には変更がありうることをご了承ください

合計：40 時間 05 分 (2,405 分)
注) 時間には、テスト時間を含む